

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-160	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	コ I 349	FLEX English Communication I		

1. 編修の趣旨及び留意点

高校生が将来、人として社会の共同体の一員として歩いていく際に深く広く考えるべく時事問題から人生観まであらゆるジャンルの題材を提示し読後感に溢れる教材とした。そのためには3点に配慮して編修した。

- ① 4技能を総合的かつ統一的に学ぶことはもちろんのこと自己概念や事象に関し、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高める工夫を盛り込んだ構成にすること。
- ② グローバルな視野を広め、世界共通語としての英語に対する興味、関心を持つよう人文科学系、自然科学系から幅広く教材を提供すること。
- ③ 生徒の自律学習を促し、問題解決能力を促せるような教科書にすること。

2. 編修の基本方針

編纂に関しては次の3点を基本方針とした。

- ① 積極的なコミュニケーションを図ることができるように教材は弾力性のある普遍的なものを選択し、自己の経験と照らし合わせて教科書の英文を用いて発信できるものとする。
 - ② 生徒が具体的な言語の使用場面を設定できるよう教科書、付属教材の両方に様々な工夫を盛り込み、効果的な指導や学習ができること。
 - ③ 幅広い年齢層の指導者が得意分野の領域を伸ばしつつ、総合的に指導力のある指導者として教壇に立つことができるよう「教師も学べる教科書」にすること。
- ①～③に対応するために、編著者たちのこれまでの現場の多様な英語教育実践を適切に内在させ教科書及び指導書に十二分に反映させること。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 2 教科書本文	脳神経外科医の現在の研究を通してアスリートの脳の働きを解明し、目的達成にはどのような手続きを踏んでいけばよいかを学ばせる。(第1号)	31 頁
Lesson 3 教科書本文	スピーチの中で JAXA が国産の太陽光をエネルギーに還元する装置を現在試みている過程を生徒に学ばせ、明るい未来を共に生きていく勇気と希望を与えさせる。(第1号)	43, 47 頁
Lesson 9 教科書本文	人類の進歩の象徴である科学の発展は生物の存在の驚異から応用されているものが多く、科学と自然との深い関わりを学ばせる。(第1号)	149 頁
Lesson 1 教科書本文	人気キャラクターくまモンの成功の舞台裏にはキャラクター使用权のしくみがあり、県職員の努力、そしてチームワークとはどのようなものかを学ばせる。(第2号)	15 頁
Lesson 8 教科書本文	最新技術の「着るロボット HAL」の生みの親、山海教授の思いを理解させ、この技術がこれからの生活を変え、老後の不安を解消する一方、危険な使用もあることに警鐘を鳴らし、善悪面を深く学ばせる。(第2号)	127, 129 頁

Lesson 10 教科書本文	ダライラマを素材とした内容で人は愛と慈悲を持ってさえすれば困窮極めている人を救うことができ、その人も幸福感を持つことができるという内容を背景に世界情勢が不安定の中、これからの若者に対する珠玉のメッセージを読み取らせ、最終章で自問自答させたい内容にした。(第3号)	165, 167 頁
Lesson 4 教科書本文	マララさんのタリバンに対する毅然とした態度、また恐怖、暴力に屈しない姿勢を学ばせ、世界の子供たちに教育の大切さを命がけで訴えていく過程を学ばせる。(第4号)	59, 61 頁
Lesson 7 教科書本文	世界の人口増加に伴い、水不足が必至となる将来において本来の水ばかりでなく水分という視点に着眼して日本の世界のあり方を問うことを学ばせる。(第4号)	109, 115 頁
Lesson 5 教科書本文	富士山が文化遺産に採択された理由はこの山が日本人の生活の根本に影響を与え、数々の文化を創造してきたことに起因する。この日本人の生活の一部となった富士山の存在を生徒に再認識させる。(第5号)	83 頁
Lesson 6 教科書本文	ドナルドキーン氏の書物、生き方を通して日本の古典、伝統、文化や歴史観を学ばせ、生徒に様々な気づきを認識させる。(第5号)	97, 99 頁

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、効率的に学習が進むように次のような工夫をした。

① 目的に応じた読み方を習得させる工夫。

英文の読み方に必要不可欠な技術を **Reading Skill** として各章の前に配置し幅広い学習者に文法などを適宜簡潔にまとめて明示し、確認しながら、章に進めるようにした。

② リスニング、スピーキング能力向上を図るために **Listening Skill** を配置した。読む英語と聞く英語の相違を提示し、この先の発信能力を養うため耳から入る英語にも焦点を置き、繰り返し学習を期待し英文に即座に変換できるよう工夫した。

③ 耳から入る英語に章の始めは主眼を置き、冒頭に一枚の写真を提示し、音声を聞きながらまとまりのある英文を聞かせ耳からの情報収集を目的とした。その後、理解度を図るために **Question** を置き、生徒の理解度を確認するよう工夫した。またスキーマ活性のため、この写真を使用しながら本文のリテリングも活用できるよう工夫した。

④ まとまりのある英文の理解度を的確にはかる工夫のために、それぞれの章の **Comprehension Questions** では、大まかな内容についての質問、細部についての質問なども入れながら行間を読み取らせる設問も適宜入れ、英文の背景なども読み取らせるよう工夫した。耳から質問を把握し英文を見ながら答えを再構築するような工夫も施した。

⑤ 各章で提示している英文については基本的に英文を読むことを目的としている。ここで言う「読む」とは黙読にとどまらず「音読」も視野に入れている。特にリズムのある英文に書き換えシャドーイングなど円滑に移行しやすい英文を使用した。つまり良質な英文の素材を自由に実践できるように工夫し、英語でプレゼンテーションしたり、その素材を使ってディスカッション、ディベートを行えたりできるような基本オープンエンドな素材としている。その手法は現場の教師が自由に選択できるようにあえて指示を控える工夫をした。

⑥ 語彙力、構文力を広げる工夫に関しては本文を読む上で必要なボキャブラリーは側注で、また本文のフレーズ、イディオムも提示し、最終的にはプロダクションに指導が移行できるよう工夫した。

⑦ リスニングポイントがわかるように **Sound Tips** という項目を設け、リーディングのみならず常に音声を意識し、リスニングとスピーキング能力の向上を生徒に意識させるよう工夫した。および自らが発する場においてもこれらのポイントを活用することも想定した。

⑧ リーディングポイントを明確にさせるために **Reading Tips** を設定し、重要な文型や語句を読後も再確認し、短期記憶から長期記憶につなげ、最終的には **Writing** や **Speaking** に活用できる繰り返し学習を促せるような工夫を施した。

⑨ **Comprehension** では全体の英文の流れ、意味内容を把握させるために、英語による **Summary** と

日本語による文構造が把握できる設問を入れ復習の方法を明らかにした。最初に全文を聞き、Comprehension で理解度が試せるような工夫をした。

⑩ Grammar では内容のある自己表現へ移行できるようなリーディングのみならずライティングやスピーキングにおいて必修習得が必要なものを精選した。

⑪ Exercises では本文で学んだ語彙をさらに広げるための設問と、重要な表現を再度取り上げた。重要表現を本文と違った形で問い定着を図るために厳選した上、頻度の高い英文を心がけた。

⑫ Final Presentation において Q&A Making では各章で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるように Q&A スタイルのシートを作成し、ペアワークを円滑に行えるよう工夫をした。さらに Discussion と共に学習することも視野に入れ、本文で学んだ知識をより発展的に膨らませられるよう意識をした。また、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや、経験したことなどを元に、自発的にコミュニケーションがとれるよう指示文も工夫した。

⑬ 生徒の多様な実態に応じて弾力的な使用ができるように配慮した。

各 Chapter の本文の指導は、付属教材に、フレーズ・リーディングが可能になるワークシートや、リスニングや音声をペースメーカーにしてリスニングしながら黙読する練習が行えるよう、本文を普通に朗読した音声教材と、フレーズ・リーディングのためのワークシートに入れられたスラッシュと同じ箇所にポーズ置いて朗読した音声教材の両方を用意している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-160	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	コ I 349	FLEX English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、効率的に学習が進むように次のような工夫をした。

◆ 各章で提示している英文については基本的に英文を読むことを目的としているが、黙読にとどまらず「音読」も視野に入れている。特にリズムのある英文に書き換えシャドーイングなど円滑に移行しやすい英文を使用した。

◆ まとまりのある英文の理解度を的確にはかる工夫のために、それぞれの章の Comprehension Questions では、大まかな内容についての質問、細部についての質問なども入れながら行間を読み取らせる設問も適宜入れ、英文の背景なども読み取らせるよう工夫した。

◆ Comprehension では全体の英文の流れ、意味内容を把握させるために、英語による Summary と日本語による文構造が把握できる設問を入れ復習の方法を明らかにした。

◆ Grammar では内容のある自己表現へ移行できるようなリーディングのみならずライティングやスピーキングにおいて必修習得が必要なものを精選した。また、Exercises では本文で学んだ語彙をさらに広げるための設問と、重要な表現を再度取り上げた。

◆ Final Presentation において Q&A Making では各章で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるように Q&A スタイルのシートを作成し、ペアワークを円滑に行えるよう工夫をした。さらに Discussion と共に学習することも視野に入れ、本文で学んだ知識をより発展的に膨らませられるよう意識をした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数
	第2款第2コミュニケーション英語 I 2内容, 3内容の取扱い			
Reading Skill 0, 1 Listening Skill 1	2(2)ア, イ		5,6,8 頁	1
Lesson 1 Listening / Questions Part 1-3 / Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)		9 頁 10-15,20 頁 10-16 頁 16 頁 17-18 頁 19 頁	5
Reading Skill 2	2(2)イ		21 頁	1
Lesson 2 Listening / Questions Part 1-4 / Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)		23 頁 24-31,36 頁 24-31 頁 32 頁 33-34 頁 35 頁	7
Reading Skill 3, 4	2(2)イ		37, 37 頁	1
Lesson 3 Listening / Questions Part 1-4 / Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)		39 頁 40-47,52-53 頁 40-47 頁 48 頁 49-50 頁 51 頁	7
Reading Skill 5	2(2)イ		54 頁	1
Lesson 4				6

Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	55 頁 56-63,52-53 頁 56-63 頁 64 頁 65-66 頁 67 頁	
Reading Skill 6	2(2)イ	70 頁	1
Optional 1	2(1)ア, イ	71-74 頁	4
Lesson 5 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	75 頁 76-83,88-89 頁 76-83 頁 84 頁 85-86 頁 87 頁	8
Listening Skill 2	2(2)ア	90 頁	1
Lesson 6 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	91 頁 92-99,104-105 頁 92-99 頁 100 頁 101-102 頁 103 頁	8
Reading Skill 7	2(2)イ	106 頁	1
Lesson 7 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	107 頁 108-115,120-121 頁 108-115 頁 116 頁 117-118 頁 119 頁	8
Listening Skill 3	2(2)ア	122 頁	※
Lesson 8 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	123 頁 124-131,136-137 頁 124-131 頁 132 頁 133-134 頁 135 頁	8
Optional 2	2(1)ア, イ	138-141 頁	6
What a Wonderful World	2(2)ア	142 頁	※
Lesson 9 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	143 頁 144-151,156-157 頁 144-151 頁 152 頁 153-154 頁 156 頁	8
Listening Skill 4	2(2)ア	158 頁	※
Lesson 10 Listening / Questions Part 1-4/ Flexible Learning Experience Sound Tips / Reading Tips Comprehension Grammar / Exercises Final Presentation	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(2)ア, イ 2(1)イ 2(1)エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	159 頁 160-167,172-173 頁 160-167 頁 168 頁 169-170 頁 171 頁	8
分野別 Hot Topics		174-179 頁	※
		計	90

※は各学校で弾力的運営を想定している。